

No. 152号 (第03号)

# 会 報

2015年12月15日発行

公益社団法人 日本技術士会 中部本部 静岡県支部  
事務局連絡先 Phone : 080-9495-8566 E-mail : [ipej-shizu@ipej-shizu.sakura.ne.jp](mailto:ipej-shizu@ipej-shizu.sakura.ne.jp)  
支部長 : 山下 久吉 事務局長 : 大井 寿彦 会計 : 土屋 国彦 広報 : 齋 強志・加藤 和仁

## 2015年度 第2回例会 東名高速道路由比港橋桁連結工事の現場見学



### 1. 第2回例会

日時 : 2015年10月31日 (土)

場所 : 三井住友建設(株) 由比港橋作業所

参加者 : 例会 29名、懇親会 21名

東名高速道路由比港橋は、由比漁港の入口を跨ぐ PC 箱桁橋梁で駿河湾に面した位置にある。由比港橋のヒンジ部連続化による補強が本工事の目的である。

今回の例会では、発注者である NEXCO 中日本 本山様 (保全担当課長) と工事を実施される 三井住友建設 小寺様 (由比港橋作業所長) に 工事概要のご説明と箱桁内を含む工事現場を見学させていただいた。

## 2. 工事概要

東名高速道路由比港橋は 70m ある中央スパンの真ん中に切れ込みがあり、橋脚から真ん中に向けて桁高が薄くなる構造で、名古屋側と東京側から伸びてきた桁が中央で合わさる部分にジョイントがあるヒンジ構造となっている。

阪神大震災が発生から数年後にこの橋脚は耐震補強されており鋼板で巻きたてられている状態。上部工については当時問題ないということであったが、海上橋で橋脚のないところにジョイントがあるため管理上の難があり、またお客様の運転の快適性の面からもジョイントはない方がよいということで橋全体の補強工事を兼ねて上部工を一体に連続化し、中央部のジョイントを廃止するという補強工事が計画された。

この橋は昭和 43 年に開通し、建設期間を含めると作り始めからほぼ 50 年経過している。現在の交通量は 4 万台/日程度であるが、新東名が開通する前は 7 万台/日程度走っていた。10 年ほど前からこの橋を一体に連続化したいという構想はあったものの、連続化工事をするとなるとコンクリート打設工事などのため昼夜連続車線規制をせざるを得ず、大渋滞が予想されることからなかなか施工できない状況であった。3 年前に新東名が開通したことで、予算も確保することができたため本年工事の着工に至った。

中央径間にあるヒンジ構造は、ゲレンク沓というものでつながっており、このゲレンク沓を巻き込んで新しい鉄筋を配置、コンクリートを打って一体化させた後、外ケーブルを緊張して橋梁全体を一体化させるという工事になる。東名高速道路の車線規制期間は、港の漁船が出入りする都合上、春の漁期開始日の前日である 3 月 21 日までに足場の撤去を含めて完成させる必要があるということで、かなり工事を圧縮して行う必要があり、時間短縮のために早期に強度の出るコンクリートを利用して施工するなど工夫がされている。



由比港橋（山側から撮影）



港橋内工事現場への入口（階段）

## 牧之原市との協定締結

平成 27 年 11 月 30(月)に日本技術士会中部本部静岡県支部は牧之原市と「公共土木施設のマネジメントに係る技術助言に関する包括協定」を締結いたしました。協定締結式は牧之原市役所榛原庁舎で行われ、西原茂樹市長と山下支部長が協定書を交わしました。この協定の締結に向けては山之上会員、吉田会員、岩田会員の 3 名が中心となり牧之原市と話し合いを行ってきた結果です。

協定の内容は、牧之原市が管理している公共土木施設が自然災害などで被災し、大規模改修が必要となったとき、もしくは各事業実

施時における様々な課題やニーズに対して機動的かつ的確に対応するために、静岡県支部は助言チームを設け、専門的な立場からの助言や広い知見からの情報・ノウハウを提供することとなります。協定期間は平成 28 年 3 月 31 日までの期間となっていますが、大きな変更がなければ毎年協定は延長されます。

このような自治体支援の協定は日本技術士会の中では静岡県支部が最初の契約であり、今後の活動に対し、大いに期待されています。



牧之原市との締結調印式

## お知らせ

静岡県支部の例会を以下の予定で開催いたします。お誘いあわせの上、多数の方にご参加いただけますようお願い致します。

□ 第1回西部地区例会：<http://ipej-shizu.sakura.ne.jp/reikai/2016seibu.html>

平成27年度の第1回西部地区例会を2016年1月16日(土)にセレクトイン浜松駅前にて開催します。今回は、東日本大震災から5年を迎えるにあたり、防災に関する講演を予定しています。

講演1：「中小企業向けBCP ～BCPを深化させるために～」

井辺博光 技術士(上下水道部門、衛生工学部門、総合技術監理部門)

講演2：「広島土砂災害被災者支援活動/防災支援員に求められる活動」

吉田建彦 技術士(経営工学部門/総合技術監理部門)、元静岡県技術士協会会長

□ 第1回東部地区例会：<http://ipej-shizu.sakura.ne.jp/reikai/2016toubu.html>

第1回東部地区例会を上記吉田会員の講演のもと、1月23日(土)に沼津市の(株)東日にて開催します。その後、会場を移し、交流会を開催します。

□ 第4回例会

2016年2月13日(土)に静岡県男女共同参画センター あざれあ 第三会議室にて開催します。国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA)の森田泰弘プロジェクトマネージャーをお招きしてイプシロンロケットに関するご講演をいただきます。

## 編集後記

師走になり、年末へ向けて慌しく時が進んでいます。今年は静岡県支部の設立や旧静岡県技術士協会の50周年記念誌の発行など大きな変化のある一年でした。来年はこういった変革も落ち着き、新たに一步一步足を踏み出し、着実に大きな成果をあげる一年になるものと思います。2016年も本年と変わらず皆様方のご協力をいただけますようよろしくお願いいたします。日本技術士会静岡県支部と皆様方にとって良い一年になることをお祈り申し上げます。

(編集後記：広報担当者)